

平成23年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

●予算編成の考え方

島根県立大学は、平成19年度に3大学が統合・法人化し、3キャンパスの基盤づくりと教育研究の活性化に努めてきました。平成22年度においては、新たに制定した「島根県立大学憲章」により明らかにした理念に沿い、全学を挙げて積極的に大学運営に取り組んできたところです。

平成23年度は中期計画5年目で中間評価実施年度に当たるため、現計画の成果が問われること、また、合わせて次期中期計画に向けた準備に取り組むことを踏まえた法人運営を進めていく必要があります。

一方で、県の運営費交付金が効率化を促す趣旨から毎年度減額される中、平成23年度も引き続き効率化継続の方針が示されており、自律的な運営のための取り組み、即ち、経費削減努力、効果的な事業実施、自己財源の確保等がより一層求められます。

このため、平成23年度予算案は、「年度計画」及び「重点項目」を踏まえ、中期計画が着実に実行できるよう、特に、教育の質の向上、学生支援の充実、競争的外部資金事業の後継対策、研究の支援、業務の改善、大学環境整備の充実などに留意しつつ編成を行いました。

●予算の概要

1. 事業費総額

事業費総額は、38億85百万円で、前年度予算（30億77百万円）に比べ、26.3%増（808百万円増）となっています。

(単位:千円、%)

区 分	平成23年度当初	平成22年度当初	増 減	増減率
予算規模	3,885,348	3,077,473	807,875	26.3

2. 収入予算

(単位:千円、%)

区 分	平成23年度当初		平成22年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	1,517,403	39.1	1,534,800	49.9	▲17,397	▲1.1
学生納付金	976,226	25.1	970,957	31.6	5,269	0.5
県補助金(四大化除)	119,083	3.1	86,833	2.8	32,250	37.1
外部補助金等	49,273	1.3	76,346	2.5	▲27,073	▲35.5
寄附金	40,000	1.0	40,000	1.3	0	0.0
その他収入	84,869	2.2	81,352	2.6	3,517	4.3
計	2,786,854	71.7	2,790,288	90.7	▲3,434	▲0.1
運営費交付金(退手)	97,075	2.5	179,600	5.8	▲82,525	▲45.9
県補助金(四大化)	879,430	22.6		0.0	879,430	皆 増
積立金取崩収入	121,989	3.1	107,585	3.5	14,404	13.4
合 計	3,885,348	100.0	3,077,473	100.0	807,875	26.3

○運営費交付金は、退職手当の減▲83百万円、効率化（▲1.3%）による減額分▲32百万円、出雲キャンパス四大化関係経費分の増+17百万円等を見込み、総額で100百万円減（▲5.8%）となっています。

○県補助金（大規模修繕等の特殊要因経費に対し10/10補助）は、出雲キャンパス四大化事業分（879百万円）及び通常事業分（松江キャンパス耐震補強事業ほか3件）を予定し、912百万円増（+1049.9%）となっています。

- 外部補助金等は、平成21年度及び平成22年度に採択された文部科学省大学教育推進プログラム及び大学生の就業力育成支援事業（G P）の継続分3件や受託研究収入等を計上し、27百万円減（▲35.5%）となっています。
- 寄附金は、旧北東アジア学術交流財団寄附金事業に充てるための収入として、平成22年度と同額を計上しています。
- 積立金取崩収入は、「教育研究及び業務運営充実積立金」を財源として実施する事業に充てるための収入として計上し、14百万円増（+13.4%）となっています。
- ※目的積立金充当事業：教育向上、学生支援、G P後継、研究支援、業務改善、環境整備等に資する事業

3. 支出予算

(単位:千円、%)

区 分	平成23年度当初		平成22年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	241,224	6.2	240,652	7.8	572	0.2
研究経費	131,787	3.4	135,696	4.4	▲3,909	▲2.9
教育研究支援経費	191,710	4.9	199,058	6.5	▲7,348	▲3.7
人件費(退手除)	1,664,131	42.8	1,645,868	53.5	18,263	1.1
一般管理費	449,879	11.6	445,549	14.5	4,330	1.0
施設費事業(四大化除)	119,083	3.1	86,833	2.8	32,250	37.1
受託事業等	80,340	2.1	107,366	3.5	▲27,026	▲25.2
予備経費	45,376	1.2	36,851	1.2	8,525	23.1
計	2,923,530	75.2	2,897,873	94.2	25,657	0.9
人件費(退職手当)	97,075	2.5	179,600	5.8	▲82,525	▲45.9
施設費事業(四大化)	864,743	22.3		0.0	864,743	皆 増
合 計	3,885,348	100.0	3,077,473	100.0	807,875	26.3
特定財源支出除き	2,587,431		2,596,089		▲8,658	▲0.3

- 教育経費は、マイナスシーリングによる経費節減の一方で、就職活動支援金給付制度や出雲キャンパス四大化準備経費の増等により、1百万円の増を見込んでいます。
- 研究経費は、マイナスシーリングによる経費節減の一方で、北東アジア地域研究センター運営費の増等により、4百万円の減を見込んでいます。
- 教育研究支援経費は、マイナスシーリングによる経費節減の一方で、地デジ化対応経費や石見ケーブルビジョン加入経費の増等により、7百万円の減を見込んでいます。
- 人件費は、出雲キャンパス四大化に係る体制強化に伴う増や退職手当の減等により、64百万円の減を見込んでいます。
- 一般管理費は、マイナスシーリングによる経費節減の一方で、財務会計システム更新事業費の増等により、4百万円の増を見込んでいます。
- 施設費事業には、県補助金を財源とした出雲キャンパス四大化事業費や大規模修繕等の事業を計上しています。
- 受託事業等には、旧北東アジア地域学術交流財団寄附金事業費40百万円、文部科学省大学教育推進プログラム等（G P）継続事業分等を計上しています。
- 予備経費は、年度途中の緊急的な支出に備えるため、45百万円を計上しています。
- 支出総額は、808百万円増（+26.3%）となっていますが、特定財源による支出を除くと25億87百万円で、前年度に比べ9百万円減（▲0.3%）となっています。

※特定財源：運営費交付金(退職手当分)、県補助金、外部補助金等、旧N E A R 寄附金、積立金取崩収入

4. 主な事業の概要

(1) 学部新設・学生の確保

- | | |
|---|------------|
| ●看護学部設置（四年制大学化）事業（本部） <u>（新規）</u> | 879,430 千円 |
| ・平成24年4月看護学部開設に向けて、必要となる講義室・実習室・演習室・自習室・学生ラウンジ・研究室等を整備するための施設の増改築等及び学部設置に係る準備業務を実施する。 | |
- | | |
|---|--------|
| ●看護学生募集緊急対策事業（出雲C） | 900 千円 |
| ・看護学部開設に伴い、新学部への進学志願者を確保するための積極的な宣伝・広報及び一般県民向けの周知活動を拡充して実施する。 | |

(2) 教育の充実、向上

- | | |
|---|--------|
| ●島根県立大学「未来ゆめ基金（仮称）」事業（本部） <u>（新規）</u> | 798 千円 |
| ・学生に対する教育内容充実に資するため「未来ゆめ基金（仮称）」を創設し、本学卒業生、一般県民及び地元企業等から幅広く寄附金を受け入れる仕組みを整備し、広報活動や寄附者の掘り起こしを積極的に実施する。 | |
- | | |
|--|----------|
| ●求人開拓調査事業（本部） <u>（新規）</u> | 1,008 千円 |
| ・キャリアセンター教職員が、「企業が求める人材ニーズ」等を把握し、本学独自のキャリア教育構築及び学生の就職活動支援のため、企業関係者や就職指導専門家等との意見交換、情報収集活動を実施する。 | |
- | | |
|--|-----------|
| ●「学修と就業の一貫性を構築するキャリア教育」事業（浜田C） | 16,662 千円 |
| ・初年次から地域の職業人と接して学習目的を明確化し、自ら職業に就く能力を身につけることを目的として、少人数グループで地域に出て地域の課題を発見する「フレッシュマン・フィールド・セミナー」や先輩学生ピアサポーターによる「初年次サポート制度」といった教育の充実及び就職試験対策、キャリアカウンセリング、卒業生調査に基づく就業支援を一体的に取り組む。（H22採択「大学生の就業力育成支援事業」） | |
- | | |
|--|----------|
| ●「ほいくまつり」事業の拡充（松江C） | 1,130 千円 |
| ・保育学科学生が授業成果を自主的取組みとして企画・発表することにより具体的な学習機会を確保し、合わせて地域の親子に直接ふれあい楽しむことで地域貢献も行う。
・特に、平成23年度からの神話のふるさと「島根」推進事業に呼応し、出雲神話関連の取り組みを加える。 | |
- | | |
|---|--------|
| ●フィールドワーク学外実習の充実（松江C） <u>（新規）</u> | 131 千円 |
| ・総合文化学科学生がさまざまな学外実習を通じて海外・地域との交流を図ることにより、地域文化の理解や地域資源が溢れるフィールドを活かした学びを深め、大学憲章に掲げる人材育成に取り組む。 | |
- | | |
|---|----------|
| ●保健師助産師看護師国家試験対策事業（出雲C） | 1,543 千円 |
| ・国家試験合格率100%達成を目指し、多様化する学生の課題に対応するための学習支援として、試験対策セミナー等の実施や試験関連情報の提供を行い、また、教職員がより円滑に連携して学生のバックアップに努める。 | |

(3) 学生支援・地域貢献の充実

●意欲ある学生に対する学修支援のための新奨学金給付制度（全学）*(制度創設)*

- ・意欲ある学生への学修支援を行うため、現在の授業料減免制度等を見直し、経済的支援としての学修支援奨学金、入学時奨学金及び成績優秀者奨学金の3メニューからなる新たな奨学金給付制度を創設し、平成24年度入学生から適用するため、進学希望の高校生等へ積極的にPRを行う。

●就職活動支援金給付制度（全学）*(新規)* 3,000 千円

- ・就職活動期間の長期化に伴う学生の経済的負担を軽減を図り、合わせて学生と大学の連携強化による就職指導等の充実を図るため、就職活動支援金の給付を実施する。

●キャンパスマイレージ事業（全学） 965 千円

- ・学生のボランティア活動やエコ活動をポイント化して蓄積し、地域活動及び社会的な実践活動を通じた社会貢献と学びの促進の動機付けとする。また、学生の活動実績はデータとして蓄積し、学内外へ情報発信したり本人の振り返りに活用する。
- ・蓄積されたポイントは、各キャンパスの創意工夫で表彰などにより学生に還元する。

●学生地域ボランティア活動推進事業（全学） 660 千円

- ・学生が地域ボランティア活動等に安心して参加することができるよう、活動に際して発生する事故等に対する保険の保険料を大学が負担するとともに、窓口機能の強化、学生との意見交換会の開催等を通じて、学生ボランティア活動の推進を図る。

●メディアセンター・図書館利用環境改善検討等経費（本部）*(新規)* 2,072 千円

- ・昨年度まとめた「現状と課題、今後のあり方報告書」をもとに、学生支援空間創出のため利用者視点に立った改善検討を進める。
- ・松江キャンパス図書館においては、十分ではないパソコン・インターネット利用環境を充実するため、早急に対策を実施する。

●学生のメンタルヘルス充実のための総合分析事業（本部）*(新規)* 261 千円

- ・学生のメンタルヘルスの課題を総合的に分析し、適確な学生支援を行うとともに関係スタッフの役割を明確にし円滑な連携を図るため、精神健康調査スタッフを拡充する。
- ・心の健康状態をチェックするGHQや健康調査結果を早期に集計し、学生のメンタルヘルスの課題を総合的に分析し、的確な事後指導、学生支援を行う体制を拡充する。

●就職活動サポートプログラム事業（浜田C）*(新規)* 420 千円

- ・首都圏で就職活動を行う学生を支援するため、東京都心部にキャリアセンタースタッフが就職相談を行う拠点施設（レンタルスペース）を確保する。

●公務員試験対策講座実施支援事業（浜田C） 2,260 千円

- ・公務員試験合格を目指す学生のための試験対策専門講座「公僕学舎」を開設する島根県立大学後援会に対して実施経費に係る補助を行う。

●公開講座「椿の道アカデミー」体制充実経費（松江C）*(新規)* 600 千円

- ・これまで多くの地域住民に受講していただいている「椿の道アカデミー」について、会員制度を導入するとともに担当窓口体制を充実し、新講座開設など新たな取組みを積極的に展開する。

(4) 研究の活性化・国際交流の推進

●北東アジア地域研究センター研究能力向上・維持のための活動経費(新規)	1,000 千円
-------------------------------------	----------

- ・NEARセンターにおける研究能力をこれまで以上に向上・維持するため、研究員が一体となって北東アジア地域の調査・研究・交流を実施するための活動経費

●北東アジア地域研究センター事業	4,915 千円
------------------	----------

- ・大学院生の教育・指導の充実を図るため、GP事業「魅力ある大学院教育イニシアティブ」に選定された「実践的北東アジア研究者の養成プログラム」の後継事業である「市民研究員との共同研究助成事業」及び「競争的課題研究助成プログラム」を継続実施する。

●大学院特別資料室図書書誌情報整理体制の充実(浜田C)(新規)	4,761 千円
---------------------------------	----------

- ・外国語研究図書をはじめとした数多くの大学院特別資料室図書について、速やかに書誌情報を整理し図書システムに登録するため、必要な体制を整備する。

●海外研修奨学金(全学)	10,700 千円
--------------	-----------

- ・本学の特色である「国際的な視野を持った人材養成」実現のため、海外研修奨学金制度を継続し、研修を通じて異文化に深くふれ合うことで、大学のグローバル化を意識した学修の動機づけを図る。(研修希望者見込)180名

(5) 大学運営・情報公開の充実

●島根県立大学・短期大学部認証評価実施経費(全C)(新規)	5,402 千円
-------------------------------	----------

- ・島根県立大学においては、学校教育法に基づき7年に一度受審する認証評価に向け、委員会審議や申請書提出などの諸準備を実施する。(平成24年度認証評価実施)
- ・島根県立大学短期大学部においては、平成22年度に実施した自己点検・評価報告を受け、認証評価機関による認証評価を受ける。

●財務会計システム更新事業(本部)	28,000 千円
-------------------	-----------

- ・平成23年度にリース期間が終了する財務会計システムについて、操作性・利便性が向上し業務効率化も図れるようシステム設計を行った上で更新する。

(6) 県特殊要因経費補助金(大規模修繕等)	998,513 千円
------------------------	------------

- | | |
|---|------------|
| ●看護学部設置(四年制大学化)事業分(再掲) | |
| ・施設設備増改築工事費 | 864,743 千円 |
| ・準備経費 | 14,687 千円 |
| ●通常分 | |
| ・浜田C 本部棟エアコン更新事業 | 26,767 千円 |
| ・松江C 3号館南棟耐震補強事業、屋上防水改修事業、自動火災報知機設備改修事業 | 92,316 千円 |

(7) 外部資金関係—H21・H22採択文部科学省大学教育推進プログラム等 (GP) 継続分

● 「情報教育におけるステップ式学習プログラム」 (新教育GP・H21～23) (浜田C)	6,065 千円
・ ステップ式学習テキスト開発、情報科目等再編により学生の「実証科学」力を向上	
● 「学修と就業の一貫性を構築するキャリア教育」 (再掲) (就業力GP・H22～26) (浜田C)	16,662 千円
・ 初年次から地域の職業人と接して学習目的を明確化し、自ら職業に就く能力を身につける	
● 「おはなしレストラン、はじまるよ！」 (新教育GP・H21～23) (松江C)	12,047 千円
・ 絵本の読み聞かせを通して学生の人間力を育成するとともに地域へ貢献	

(8) 旧北東アジア地域学術交流財団 (旧NEAR財団) 寄附金事業 40,000 千円

[主な事業]

・ 北東アジア学研究プロジェクト事業	1,000 千円
・ 北東アジア学図書出版事業	2,500 千円
・ 共同プロジェクト研究助成事業	6,500 千円
・ 地域貢献プロジェクト助成事業	3,900 千円
・ 学術図書出版助成事業	2,000 千円
・ 国際学術交流事業	4,885 千円
・ 外国人研究員等招へい助成事業	700 千円
・ 交流県留学生教育支援事業 (奨学金、語学研修)	8,380 千円
・ 大学院留学生教育支援事業 (奨学金、語学研修)	8,635 千円
・ 国際文化交流促進事業	1,500 千円